

第1回社会教育委員会議 会議録

1. 開催日時 令和7年5月27日（火） 15:00～
2. 開催場所 嘉麻市碓井支所3階 研修室1
3. 公開又は非公開 公開
4. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
5. 出席者
 - (1) 委員
議長：平尾 みづえ、副議長：早友 忠敏
齊藤 瑞穂、松岡 敏子、大里 みづき、舩井 由里子
欠席委員：松岡 憲一
 - (2) 執行機関
嘉麻市教育委員会 生涯学習課
教育長 伊東 新治
課長 末永 康洋 課長補佐 矢野 義博
社会教育係長 平塚 賀一
社会教育係 岡野 陽介
人権・同和教育係長 中野 聡子
6. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 1人
7. 議題及び審議の内容
【次第】
 1. 開会のことば
 2. 議長あいさつ
 3. 教育委員会あいさつ
 4. 議題
 - (1) 令和6年度 教育委員会生涯学習課事業総括について
 - (2) 令和7年度 教育委員会生涯学習課事業計画（案）について
 - (3) その他
 5. 閉会のことば
8. 議事録
 - (1) 令和6年度 教育委員会生涯学習課事業総括について

(事務局より説明)

○ 議長

事務局の説明について、何かご意見等ありましたらお願いいたします。

○ 大里委員

地域学校協働活動推進事業について質問したい。課題として、地域ごとに進捗状況が異なるとのこと。具体的に教えてほしい。

(事務局)

碓井地区が若干先行していると捉えている。市内各地区で子ども会活動や住民会議など既存団体が盛んな地区もあることから、地域学校協働本部と既存団体を繋いで、協働して地域を盛り上げたい。当該本部について一定の期間をかけて徐々に進めたいと考えている。

碓井地区の具体的な取り組みとして、残念ながら、雨で中止になったが、碓井義務教育学校の学校行事ウォークラリーを本部事業として行うことにした。事前の会議で役割分担などを決めて事業に取り組んだ経緯がある。

○ 大里委員

地域の方たちと連携がうまくいっていると言って良いか。昨年度は本部設置が目標で、そこから活動が活発化すると思う。熊ヶ畑としては羨ましいと思い、今回の質問を行っている。

(事務局)

碓井地区は従前から1小学校1中学校で取り組みがしやすいことから先行しているものとする。

山田地区についても先日、本部会議を開催したところである。熊ヶ畑からも館長が出席し、どの事業が本部事業になりそうか情報共有を行っている。この事業は拙速に進めるのではなく、ある程度長期的な視点で続けないと成果は出ないと考えている。これは、地域のコミュニティの再構築にもつながる事業と思っている。コロナで3年半、地域の団体や行政区の動きがストップしたことで、地域活動に関与しにくくなっている方が一定数いると思われる。

○ 早友委員

市民として地域を盛り上げるイベントを企画している。イベントなどの周知について質問したい。市民団体のイベントは、ちらしを学校で配ってもらっている。一方、学校行事は、学校から保護者のスマホに連絡用アプリで流れてくる。地域と学校を結びつける点から学校の連絡用アプリを使って地域のイベントを知らせる仕組みとそのルールを作ってもらいたい。

(事務局)

イベントが地域学校協働本部の事業に位置付けられると、学校から知らせることができ。それぞれの地域学校協働本部で、どのイベントを本部事業に位置付けるか考えていただきたい。

○ 早友委員

碓井地区は碓井地区での本部事業になるのか。嘉麻市全体での本部事業というものがあ

るのか。

(事務局)

本部は地区ごとに分けられており、嘉麻市全体での本部はないものとしている。それぞれの本部会議で協議してもらい、完結してもらうものである。本部事業の目標としては、学校を核として地域と学校と行政が協議を進めていくことであり、やり方は様々あると考えている。例えば、嘉穂地区では地域活動が活発なので本部活動は必要ないといわれれば、それで構わないと考えている。目的は地域コミュニティの活性化であり、4地区の取り組みは異なっても構わない。それぞれのルールやカラーを作ってもらい、地域も納得し、学校も地域を活用することができればと考えている。これは、既存団体である市子連や住民会議、文化協会などを将来的に無くしていきましょうというものではないことは改めてお伝えする。

○ 松岡敏子委員

嘉穂地区の市民団体への行政の関わり方を知りたい。

(事務局)

補助金を交付している団体については、運営を支援しており、内容も把握している。

○ 大里委員

事務局の報告についてお願いしたい。事務局から本日の会議資料は事前に送付されているため、各委員は目を通してきているはずなので、可能であれば報告の際、総括表の読み上げではなく、事業評価に至った経緯を説明してほしい。もう一点、「地域等での人権・部落問題研修会」で人権パネル展を開催し、「人権感覚を高める機会になった。」と報告があったが、どこからそう思ったのかを聞きたい。

(事務局)

人権パネル展の来場者に行ったアンケート結果に基づき、報告している。

○ 大里委員

人権パネル展を企画した際、その目的と開催後の成果を考え、実施されたと思う。パネル展で想定した成果が得られたのか、もしくは想定した成果を得られなかったことなど事務局がどう見ているのかを知りたい。人権パネル展に限らず、どの事業についても同じように思っている。

○ 議長

その部分については、次回の社会教育委員会会議でのお願いという事にしたい。自身も以前は解放子ども会による解放学級に関わっていたが参加者が少なくなったのではないか。

(事務局)

コロナ禍をきっかけに活動が縮小し、5学級になっている。

○ 議長

コロナ禍の影響に加え、高齢化という背景もあると思うが。

(事務局)

その通りである。

○ 大里委員

実施目標のプランがあって人権パネル展を開催されることになっていると思うが、その目的やパネル展によるその後の変化が知りたい。何を目的に行っているのか、また、具体的な成果や未達となった事項などをどのように捉えているか確認したい。

(事務局)

差別の解消という永遠のテーマの下、やり続けるしかない事業でもあるため、差別の根源をいかに解消に努めるか研鑽していきたい。

○ 議長

次の議題に進みます。

(2) 令和7年度 教育委員会生涯学習課事業計画(案)について

(事務局より説明)

○ 議長

何かご意見等ありましたらお願いいたします。

(委員より意見等なし)

○ 議長

質問・意見等がないため、事業計画表の(案)を委員皆様に消していただき、事務局に計画に基づく事業実施をお願いする。その他、事務局から連絡事項などあるか。

(事務局)

特になし。

○ 議長

それでは、令和7年度第1回嘉麻市社会教育委員会議を閉会する。